

「令和3年度独立行政法人医薬品医療機器総合機構契約監視委員会（第1回）」
議事概要

I 日 時

令和3年6月17日（木）

II 場 所

6階会議室1～3

III 出席委員（敬称略）

中村 洋（慶應義塾大学大学院 経営管理研究科 教授）

和田 義博（公認会計士）

伊藤 憲二（森・濱田松本法律事務所 弁護士）

◎寺林 努（独立行政法人医薬品医療機器総合機構 監事）

○矢野 奈保子（独立行政法人医薬品医療機器総合機構 監事（非常勤））

※ ◎は委員長、○は委員長代理

IV 議 題

（1）審議事項案件

- ① 令和3年7月から9月にかけて入札公告又は契約締結を予定している案件（一般競争入札【最低価格落札方式】を除く。）に係る事前点検について
- ② 令和3年1月から3月にかけて調達した案件に係る以下の内容についての事後点検について
 - I：随意契約等における価格交渉状況
 - II：一者応札・応募となった案件の次回改善策
- ③ 令和2年度独立行政法人医薬品医療機器総合機構調達等合理化計画の自己評価について
- ④ 令和3年度独立行政法人医薬品医療機器総合機構調達等合理化計画（案）について

（2）その他

V 議事内容

- (1) ① 令和3年7月から9月にかけて入札公告又は契約締結を予定している案件（一般競争入札【最低価格落札方式】を除く。）に係る事前点検について
- ② 令和3年1月から3月にかけて調達した案件に係る以下の内容についての事後点検について
- I：随意契約等における価格交渉状況
- II：一者応札・応募となった案件の次回改善策

標記について審議及び報告が行われた。主な概要は以下の通り。

委員からの主な質問・意見及び当機構の回答	
質問・意見	回答
<ul style="list-style-type: none"> ・健康被害救済部で行った広報業務の企画競争について、適切に機能しているのかを事後点検の中で確認すること。 ・上記広報業務に係り、外部専門家の選定委員受け入れについて、上記事後点検での結果を踏まえて、選び方なども含めて検討すること。 ・契約の透明性の確保のため、所要見込み額の策定にあたり、価格の妥当性を検証したプロセスを書類で残しておくこと。 ・総括表や点検調書について、読む側にわかりやすい書き方をすること。 ・入札説明会の見直しについて、入札説明会の有無によって入札価格が変動し得るという考え方に基づく入札説明会の見直しについては、同じく入札説明会を実施している他機関への影響を十分に考慮して行うこと。 	<ul style="list-style-type: none"> ・認知度調査の結果等に基づいて検証する。 ・過去には外部の専門家を委員に入れていたこともあったが、有効性に疑問があったため、今回は入れなかった。事後点検の結果に基づき、検討する。 ・金額の妥当性を含めた上で事業決裁を行い、その決裁を持って書類を残しているものと判断している。 ・読む側にとってわかりやすい書き方になるように努める。 ・いただいたご指摘に基づいて、検討したい。

- ③ 令和2年度独立行政法人医薬品医療機器総合機構調達等合理化計画の自己評価について
- ④ 令和3年度独立行政法人医薬品医療機器総合機構調達等合理化計画（案）について

標記について、昨年度の調達等合理化計画の自己評価の報告と今年度の調達等合理化計画案の審議が行われ、それぞれについて了承された。

(2) その他

令和3年7月～9月調達予定案件一覧表（最低価格落札方式）についての報告が行われた。

以上